

第16回バスケットボール競技実施要項

1. 競技種目

バスケットボール競技(男・女)

2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団法人)日本バスケットボール協会競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

3. 出場資格

(1) 出場方法の優先順位は次の通りとする

- ① 加盟団体単位で編成したチームとする。ただし、本人の登録する加盟団体ではない加盟団体に在籍しながら常時活動している場合はこの限りではない。(それぞれの加盟団体の体育部長の承認を得ること)
- ② 加盟団体単位でチームを編成できない場合は、加盟団体の混成を認める。ただし、登録する加盟団体に在籍する選手の比率が多いこと。(それぞれの加盟団体の体育部長の承認を得ること)

(2) コーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は選手名簿にも登録されていないならば、選手として試合に出場できない。

4. チームの編成

- (1) 1チームの編成は、選手15名以内、スタッフ6名以内(部長1名・監督1名・コーチ1名、アシスタントコーチ2名、マネージャー1名)を含めて21名以内とする。
- (2) 全国ろうあ者体育大会『競技実施要項規定』内にある『監督』の任務は、コーチが行うものとする。
- (3) チームの構成
 - ① 同県の参加選手5人以上でチームを編成する。
 - ② ①で編成できない場合は当該ブロック内に限り連合チームを編成することができる。

5. 競技方法

- (1) 競技は、3チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式とするが、出場チーム数によってはリーグ戦とすることがある。
- (2) 本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて16チーム以内とする。
- (3) 試合時間及び延長戦は、(公益財団法人)日本バスケットボール協会競技規則に準じる。
- (4) 試合の時間は、10分のピリオドを4回行う。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間に2分のインターバルをおく。ハーフタイムは10分とする。
- (5) 第4ピリオドが終わった時、両チームの得点と同じならば、1回5分の延長時限を必要な回数だけ行う。各延長時限の前のインターバルは2分とする。
- (6) リーグ戦において、チームの順位は勝ち点(ポイント)によって決定する。ゲームに勝ったチームは勝ち点2、負けたチーム(「ゲームの途中終了」も含む)は勝ち点1、ゲームを没収されたチームは勝ち点0とする。3チームとも勝ち点と同じになった場合は、ゴール・アヴェレージ(得点/失点)を用いて順位を決定する。それでも順位を決定出来ない場合は、総得点の多いチームを上位とする。

6. 使用球

試合球は、男子は(公益財団)日本バスケットボール協会公認 7 号球、女子も同協会公認 6 号球とする。

7. 組み合わせ抽選

- (1) 監督・主将等合同会議において抽選を行う。
- (2) 男女とも前回優勝・準優勝チーム(6 チーム以上は 3、4 位とも)をシードとする。ただし、シード権チームが不出場の場合は、この限りではない。
- (3) トーナメントの場合、ベスト4チームのブロックに、同ブロックのチームが入らないように抽選を行う。
- (4) リーグ戦の場合は、(2)に準じて組み合わせを行う。

8. ユニフォーム

- (1) ユニフォームは、胸部と背中にユニフォームの色とはっきり区別できる単色の 2 桁以内の番号をつける。ただし、同一加盟団体内で「0」、「00」を同時に使用することは認められず、また、「07」のような番号は認められない。
- (2) ユニフォームは、チーム名及び都道府県名を胸部に明記し、着用すること。なお、都道府県名のみでも可とする。
- (3) ユニフォームは、淡色と濃色の 2 種類を用意し、組み合わせ番号の若いチームが淡色(白)を着用する。

9. チームベンチ

- (1) ベンチは、組み合わせの若い番号のチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) 登録されたチーム関係者以外は、ベンチに入ってはならない。

10. 練習コート

チーム関係者以外の者は、ゲーム前のアップやハーフタイムの練習で、コートに入ることはできない。

11. メンバー表

- (1) 大会エントリーの変更は監督主将会議の受付までに提出があった場合のみ認める。
- (2) メンバー表は、前試合のハーフタイム(第 1 試合は開始 10 分前)までに本部席(メンバー表受付場所)に提出する。

12. 前試合が遅れた場合の処置

前試合が遅れた場合は、前試合終了 10 分後に試合を開始する。

13. 審判等について

- (1) 審判等の笛を知らせるために、バックボード上にパトライトを設置する。設置できない場合は、コートの各コーナーにフラッグ員(黄色または目立つ旗)を配置する。
- (2) 準決勝からは、(公益財団法人)日本バスケットボール協会公認 A 級審判員、もしくはそれに準ずる審判員を配置する。

14. 注意事項

- (1) コートへ出る選手は、指輪・ネックレス・ヘアピン等、危険と思われるものは身に着けない。また、ひじ等の防具で、皮革・プラスチック・金属等、表面をやわらかい素材で覆ってあっても使用してはならない。

- (2) 補聴器の装用、ボディーペイントの使用は認めない。
- (3) 暴力行為及び審判に対する暴言等、マナー、モラルを遵守できない場合、大会本部で協議の上、処置する。
- (4) 選手は健康保険証を携帯すること。

15. 本要項の改正

- ・ 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- ・ 一部改正 2006年2月19日 第8回全国委員会
- ・ 一部改正 2008年2月3日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2010年2月7日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2011年2月6日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2012年2月5日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2013年2月2日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2014年2月2日 第3回本委員会